

広報

みなみいず

2012

10

No.508



アカウミガメの旅立ちを応援

—南伊豆東小学校3年生・弓ヶ浜海岸—

今シーズンは、アカウミガメの上陸11匹、産卵
個数1,203個と過去最多を記録しました。

9月定例町議会



行政報告(要旨)

1 防災対策

(1) 南海トラフ巨大地震モデル

8月29日、内閣府から「南海トラフの巨大地震による津波高・浸水域等及び被害想定」が発表されました。この発表は、発生しうる最大クラスの地震・津波を推計したもので、「発生時期の予測はできないが、発生頻度は極めて低いものである」とされ、防災対策推進についての国民の理解を深めることが目的であるとされています。

この発表で、弓ヶ浜付近での想定津波高が、12mから13mとされましたので、津波避難タワーの規模等について、湊地区と早急に協議し、事業に着手してまいります。

(2) 海拔表示ステッカー・海拔表示板

津波対策の一環として海拔表示ステッカーを、海岸地区及び概ね海拔30m以下の地域に3,115枚、宿泊施設等を含む事業所に200枚余の配布のほか、各地区の公民館等への表示も行いました。

また、電柱への海拔表示板についても、町内445か所への設置を完了いたしました。



これらの事業により、観光客等への避難誘導対策はもとより津波避難体制の確立や減災意識の高揚を図ることができました。

(3) メール配信システムの運用等

8月7日から、住民、学校関係者、職員の3グループに分けて配信できる町独自のメール配信システムの運用を開始いたしました。

住民用メール配信では、防災・生活・観光情報等のほか、同報無線が屋内で聴き取りにくい場合などにも、メールにより広報内容を正確に把握することができますので、メール配信サービスの利用者登録を積極的に呼びかけてまいります。

(4) 小学生の防災キャンプ

7月24日に南中小学校において6年生29人が、また7月30日には三浜小学校において4・5・6年生16人が参加した防災キャンプを実施いたしました。

参加した児童たちは、炊出し訓練、防災講座、暗闇の中での歩行訓練、応急訓練など、集団での貴重な学習を体験いたしました。

(5) 杉並区との災害時相互援助協定

9月14日に役場湯けむりホールにおいて、長年交流のある杉並区との間で、減災に向けた自治体間の連携強化を基軸とする相互援助協定締結式を開催いたします。

今後とも、杉並区と防災面だけ

平成24年南伊豆町議会9月定例会が9月4日から21日まで開催され、「南伊豆町教育委員会委員の任命について」など原案どおり可決されました。一般会計予算は、これまでの歳入歳出予算の総額に1億4,427万4千円を追加し、予算総額を43億402万6千円としました。

でなく観光面なども視野に入れた多面的な交流を推進してまいりますと考えております。

(6) その他

下田土木事務所では、青野川河川堤防をはじめ、五十鈴川水門など町内8か所に海拔表示看板を設置いたしました。

また、年度内に中木、手石地内の急傾斜地崩壊対策事業による3か所の擁壁施設の避難階段や、前原橋へのWEBカメラ装置の設置も予定されております。

2 観光・産業振興等

(1) 観光・産業振興

昨年3月11日発生の東日本大震災の影響からやっと立ち直りが見えてきたところに、本年3月末に内閣府発表の南海トラフ巨大地震による津波高25.3mの風評被害が、当町の経済に、少なからず影響をもたらすこととなりました。

このような状況に対応するため通年型のイベントや、誘客キャンペーンの実施、外国人誘客のためのインバウンド事業等を展開してまいります。

また、観光協会が行う誘客事業『伊勢海老号』の運行支援や、9月補正予算に計上の商工会が行う『南伊豆プレミアム商品券』の発券支援など、関係団体と連携しながら各施策等を積極的に展開し、産業の活性化を図ってまいります。

(2) オープンウォータースイムレース等
6月24日、第3回南伊豆弓ヶ浜オープンウォータースイムレースが開催され、132人の参加があり、内58人に町内へ宿泊していただきました。初の試みとして、ブラジル・カーニバルにより会場を盛り上げました。

また、9月9日の第2回国際マスターズオープンウォータースイムレースには、海外からの招待選手を含め、183人の参加申込みがあります。

さらに、8月25、26日には、第14回弓ヶ浜ビーチバレーボール大会が開催され、参加者512人全員に町内へ宿泊していただきました。

これら行事へのサポート体制として、地域宿泊施設関係者やNPO団体、地域実行委員会等により歓迎のおもてなしなどを行っております。

(3) ジオパークビジターセンター開設

7月14日に、あいあい岬売店施設を活用し、伊豆半島で初のジオパークビジターセンターを開設いたしました。

観光協会が運営する売店も併設され、開設以来多くの来場者があり、新たな観光スポットとして定着しつつあることから、情報発信の場として大いに期待しているところであります。



(4) 観光客等入込み状況

4月から7月における観光客の入込み状況は145,981人で、対前年同期比120.40%となりました。

分野別の対前年同期比では、弓ヶ

浜海水浴場は60.97%、子浦海水浴場は63.21%、中木海岸は164.70%でした。

民宿旅館等の宿泊客数は、民宿が84.41%、旅館等が134.48%、全体では121.30%となりました。

観光施設は127.02%、各種イベントは271.24%、町営温泉の利用状況は114.96%となりました。



3 水道料金の改定

本年2月29日に南伊豆町水道料金等審議会長から水道料金改定等について答申がありました。前回、料金改定が行われてから20年経過しており、基本料金を55%引き上げるなど、料金を大幅に改定する内容となっております。

答申を受けて料金改定を検討いたしましたでしたが、利用者の負担増加を考慮し、平成25年から3年間かけて料金を段階的に改定することとし、給水条例の一部改正を9月定例会に上程いたしました。

今後とも引き続き、水道事業経営の健全化と水の安定供給に努めてまいります。

4 自然エネルギー

6月上旬に、静岡県から民間企業によるメガソーラー建設促進のための適地情報収集についての調査依頼があり、吉祥町有地について、その利活用の可能性を広げる一つの手法として回答を行ったところであります。

現在、町に数社から照会が来て

おります。吉祥町有地でのメガソーラー建設の可能性は未知数ではありますが、企業の動向を注視してまいりますと考えております。

また、環境省では、平成23年度から(独)産業技術総合研究所に委託し、下賀茂温泉の温度分布や地質等を調査し、温泉湧出メカニズム等を解明することを目的とした実証研究を進めております。

現在、加納地区において、熱水噴出試験に向けて準備が進められているところです。

調査結果は、本年度末に取りまとめられることとなっており、温泉の利活用の貴重な資料になるものと期待しております。

5 滞納処分強化対策

静岡県と35市町で構成する県個人住民税徴収対策本部会議は、個人住民税の収入率向上のため、本年度から3年間、徴収対策強化に取り組むことを決定いたしました。

このような中で、当町では、静岡県滞納整理機構による徴収や個人住民税の特別徴収を実施するなど対策に努めているところです。

さらに、9月5日から11月末まで、静岡県派遣の税務職員から財産調査や差押えなどの指導を受けるなど、徴収対策強化に取り組んでまいります。

6 電子入札

当町では、静岡県共同電子入札システムを導入し、7月から電子入札をスタートさせました。

現在は、建設関連工事のみで実施しておりますが、今後は建設関連設計委託や物品購入などの入札も電子化を目指し、より一層、事務の簡素化や透明性の確保等に向けた取組を推進してまいりますと考えております。

第9回 フェスタ 南伊豆

今年も、産業まつり、ふれあい広場、健康まつり、スポーツフェスタを一堂に会して実施する「フェスタ南伊豆」が開催されます。

日時：10月21日(日) 9:00~13:00

場所：青野川ふるさと公園

*雨天時は、役場で規模を縮小して開催。スポーツアトラクションは中止。

出店ブース (38団体)

町内産業団体等：地場産品等
姉妹都市塩尻市：野菜・果物・ワイン等
9:45販売開始!!
B級グルメなど盛りだくさん!

健康測定 (管理棟)

骨密度、体脂肪測定
健康相談等

スポーツフェスタ (芝生広場)

ラクロスPK戦、フリースロー
ヒットだターゲット等
*雨天中止

今年は、「男鹿市なまはげ」も
出演します!



エンゼルパワースポットオリエンテーリング 地蔵めぐり ウォークラリー

・3カ所のチェックポイントを回ります!
(チェックポイントは当日発表します)
・スタートからゴールまでのタイムが、事前に主催者が設定したタイムに近いほど高順位になります。

受付・スタート時間/10:00~10:30

参加資格/子育てで優待カード利用対象者(親子)、子どもを希望するカップル、先着100組

参加賞/南伊豆町内の子育て優待カード協賛店舗で使える【商品券】1,000円分

賞品/1等【商品券】20,000円分、2等【商品券】10,000円分、3等【商品券】5,000円分、
とび賞【商品券】5,000円分×3本

問合せ/健康福祉課 ☎62-6233

会場案内



いろいろな
景品が当たる
「お楽しみ抽選会」も
あります!

問合せ

フェスタ南伊豆実行委員会事務局
観光協会 ☎62-0141

交通安全ポスターコンクール

南伊豆町交通安全対策委員会は、交通安全意識の高揚と交通事故防止を図るため、交通安全ポスターコンクールを実施しました。

町内の小学校3年生と中学校2年生が夏休み期間中に描いた作品の中から、9月13日、厳正な審査を行い入賞作品10点を決定しました。このうち、小学校の部の最優秀作品をポスターにして、町内の公共施設に掲示しました。

小学校(3年生)の部

最優秀賞



南伊豆東小学校
松本優斗さん

優秀賞



南伊豆東小学校
鈴木飛優さん

佳作



南中小学校
土屋佑太さん

佳作



南伊豆東小学校
佐野杏莉さん

佳作



南伊豆東小学校
竹田ひなさん

中学校(2年生)の部

最優秀賞



南伊豆中学校
間宮漱一郎さん

優秀賞



南伊豆東中学校
平山拓海さん

佳作



南伊豆東中学校
大野奈々美さん

佳作



南伊豆中学校
小澤和真さん

佳作



南伊豆東中学校
渡辺莉央さん



取り付けましたか？

「住宅用火災警報器」

～住宅火災の早期発見！あなたの命と財産を守る！！～



消防法改正により、すべての住宅を対象に住宅用火災警報器を設置することが義務づけられていますが、下田消防本部管内における現在の設置率は69.9%であり、全国平均の77.5%を下回っています。大切な家族の命と財産を守るため、住宅用火災警報器を未設置のご家庭は早期に設置しましょう。（全国平均77.5%、静岡県平均70.4%：平成24年6月時点）

問合せ 下田消防本部 予防課 ☎22-1849

住宅用火災警報器 Q & A

Q 「どこに設置すればいいの？」

A 寝室の天井または壁に設置してください。
寝室が2階以上にある場合は、その階の階段上部にも設置してください。

Q 「どんな種類があるの？」

A 寝室や階段には煙を感知するタイプの警報器の設置が必要です。
※台所には熱式を取付けることができます。
市販されている警報器は、ほとんどのものが電池式のタイプです。

Q 「自分で取り付けることはできるの？」

A ビスなどで簡単につけることができます。

Q 「どこで販売しているの？」

A 電気店、ホームセンターなどで販売しています。



消防職員や町職員が訪問販売を行うことは一切ありません。
悪質な訪問販売には十分気をつけてください。

エアコンやテレビなど整備 加納区が宝くじの助成金を活用

（財）自治総合センターでは、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するため、宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動備品の整備などに対して助成を行っています。

このほど、加納区では、この助成制度を活用し、エアコン、テレビ、ブルーレイレコーダーを購入しました。

これにより、加納生活新興センターの利便性が向上し、より活発なコミュニティ活動が期待されます。



これからもお元気で



町長から祝福を受ける齋藤さん

8月31日、百歳になられた伊浜の齋藤庄太郎さんをお祝いに町長が自宅を訪問しました。齋藤さんは、「怒るな転ぶな風邪ひくな」をモットーに生活することが元気の秘訣だそうです。

自分の身は自分で守る



住民有志が整備した避難所へ向かう参加者（手石）

9月1日、町内全域において自主防災組織による総合防災訓練が行われました。手石区7・8・9班では、小坂山の竹林に住民有志が整備した避難所へ向かいました。

みんなで励まし合い完泳



「エーンヤコーラ」のかけ声で励まし合い泳ぐ児童たち

9月6日、三浜小学校の遠泳大会が行われ、妻良漁港から子浦五十鈴浜まで約1.5kmのコースに児童15人が挑戦しました。保護者が船やボートから声援を送る中、全員が無事に泳ぎ切りました。

弓ヶ浜で国際スイムレース



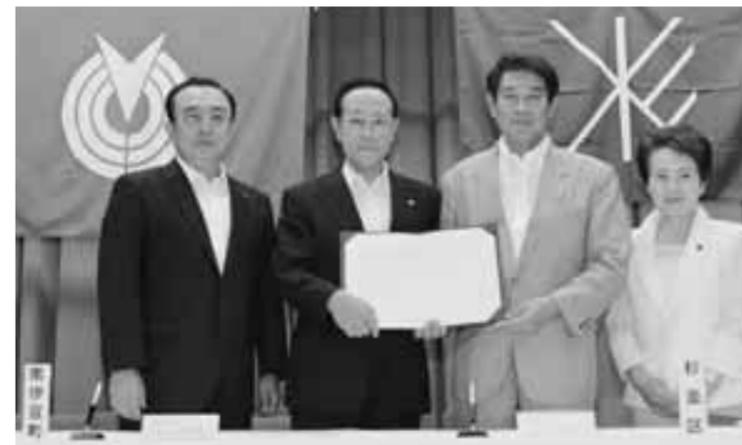
勢いよくスタートする選手たち

9月9日、第2回国際マスターズスイムレースが弓ヶ浜海水浴場で開催されました。海外選手17人を含む計163人が出場し、個人400m・800m・3km、リレーの4種目で競い合いました。

自治体間の連携を強化

9月14日、役場湯けむりホールで南伊豆町と東京都杉並区の災害時相互援助に関する協定締結式が行われました。

本町と杉並区との交流は、杉並区が昭和49年に「南伊豆健康学園」を湊に開設して以来、さまざまな実績を積み重ねてきました。これまでの交流を発展させ、災害時にはできる限りの支援を行うことを約束しました。



（南伊豆町）梅本議会議長、鈴木町長、（杉並区）田中区長、井口議会議長

今月のおすすめ



「別海から来た女」
佐野真一著／講談社
殺人3件・未遂多数。
北海道・別海町の名家に
育った女が、男たちを次々
と毒牙にかける。
木嶋佳苗・悪魔祓いの
百日裁判。



「明日のことは知らず」
宇江佐真理著／文芸春秋
廻り髪結いの伊三次と
その女房で日本橋芸者のお
文、夫婦の周りで巻き
起こる心揺さぶられる事
件の数々。



「小沢一郎はなぜ裁かれたか」
佐藤優・石川知裕著／徳間書店
「悪党小沢一郎に仕え
て」で剛腕政治家を描き尽
くした代議士と、「国策捜
査」の暴力性を知る最強
外交官が、「小沢裁判」のカ
ラクリを解き明かす。



「回廊封鎖」
佐々木譲著／集英社
巨大ビルの中で、悲劇
の幕があがる！3つの殺
人事件には共通点があっ
た。被害者はみな大手消
費者金融の元社員、処刑
のような殺害方法…。



「二世兵士 激戦の記録」
柳田由紀子著／新潮社
日本人の血を引きアメ
リカで生まれた「二世」。
アメリカと日本、そして
アジア、太平洋の島々で
彼らは日本人の美德を発
揮し、壮烈に戦った。



「虚像の道化師」
東野圭吾著／文芸春秋
新興宗教の教祖が送る
念、奇妙な幻聴、不可思
議な殺人現場、犯人が仕
掛けたトラップ。ガリレ
オこと湯川がすべての謎
を解き明かす。



「やっばいけない節約」
小山信康著／マイナビ
実効性に乏しい、時代
遅れの節約術、「そんな
ことをやって、本当に節
約になるのか？」心のど
こかで感じてきた節約に
対する疑問を検証。



「海賊とよばれた男(上下)」
百田尚樹著／講談社
20世紀の産業を興し、
人を狂わせ、戦争の火種
となった巨大エネルギー
・石油。その石油を武器に
変えて世界と闘った男と
はいったい何者か？



「絵手紙で描くひとと人」
浅倉須真子著／日貿出版社
母の看病に通った電車
の中で見たさまざまな人
間模様を絵手紙に描き残
して18年。人物から時代
の変化や世相が読み取れ
る記録となった。



「白ゆき姫殺人事件」
湊かなえ著／集英社
美人会社員が惨殺され
た不可解な殺人事件を巡
り、一人の女に疑惑の目
が集まった。彼女の関係
者たちが証言した驚くべ
き内容とは。

一新着図書案内

道ひとすじ	上田七加子
北朝鮮のリアル	チョユニヨン
文明の敵・民主主義	西部 邁
橋下語録	橋下 徹
死にゆく者の礼儀	遙 洋子
日本の地形・地質	北中 康文
「月曜日がゆううつ」になったら読む本	西多 昌規
醤油麹ことはじめ	たまな食堂
ザ・昭和弁当	ド力弁うめさん
世界の森大図鑑	山田 勇
悩むヒマありゃ、動きなさいよ!	内海 桂子
鬼談百景	小野不由美
光線	村田喜代子
鳥に単は似合わない	阿部 智里
千鳥舞う	葉室 麟

役場図書コーナーをご利用ください

役場湯けむりホールロビーに、
図書コーナーができました。
小説、政治・経済、料理、園芸な
どの本を中心に置いてあります。
また、絵本もありますので、お
子さんと一緒にご利用ください。
利用方法は、書架側面に掲示し
てあります。
冊数に限りがありますので、読
みたい本が見つからない時は、備
え付けのリクエスト用紙に書いて
カード入れに入れてください。本
が入りしだいご連絡します。



健康レシピ

みそ味のクリームシチュー



ここがポイント!

- ・味噌を入れるとコクが増します!
- ・日本人好みの味噌味のシチューです!

牛乳・乳製品料理講習会より

- ▷ 材料/5人分 ◁ (1人分エネルギー252kcal、塩分1.5g)
- | | | | | |
|--------|----|---|---------|-------|
| 手羽元 | 5本 | A | 水 | 300ml |
| 玉ねぎ | 1個 | | みそ | 大さじ2 |
| 人参 | 1本 | | 砂糖 | 大さじ1 |
| じゃがいも | 2個 | | 顆粒スープの素 | 大さじ1 |
| さやいんげん | 5本 | | バター | 20g |
| | | | 小麦粉 | 大さじ3 |
| | | | 牛乳 | 300ml |
| | | | スキムミルク | 大さじ3 |
| | | | サラダ油 | 大さじ1 |

- ▷ 作り方 ◁
- ①鶏肉は骨にそって切り目を入れ、塩・こしょうする。
 - ②玉ねぎは5mm幅のくし型、人参は長さを3等分にし、さらに縦に2等分に切る。じゃがいもは皮をむき4等分、さやいんげんは筋を取り、さつとゆで斜めに切る。
 - ③サラダ油をひいた鍋で鶏肉を焼付け、さやいんげん以外の野菜を加える。
 - ④Aを③に加え、煮立たせ、弱火で15分煮る。
 - ⑤別鍋でホワイトソースを作る。バターを溶かし、小麦粉を加え少し炒め、牛乳を少しずつ加える。
 - ⑥④に⑤とスキムミルクを加え、とろみがついたら塩・こしょうで味を調え器に盛り、さやいんげんをちらす。



ふじのくに暮らし推進隊

地域おこし奮闘記

伝説が甦った?!

“長者の粟”がなんとか実りました!!



穂先がサルの手のように割れています。

私たちが耕作放棄地の活動として進めている『南ダイズ・プロジェクト』では、大豆のほかいくつかの作物も育てています。その中のひとつが“長者の粟”。長者ヶ原の由来にもなったという、あの粟の長者の伝説です。まんが日本昔話にも登場する全国区のお話だと知って驚きました。その長者の家に残されていた伝説の粟を、かつて「リバイブ100」というネーミングで復活させたことがあるそうです。最近ではあまり栽培されなくなったとのことなので、いただいた種をまいてみることにしました。一部発芽したもの、残念ながら途中で枯れてしまい、途方に暮れていましたが、身近なところに救世主が。天神原から参加している方がポットにたくさん発芽させたということです。その粟を移植したのがこちら。まだ小振りながらやっとう穂が実りました。発育途中は長者の粟かどうか内心不安でしたが、長者の粟の証でもあるサルの手のように割れた穂先を見てほっとひと安心しました。
(推進隊 山之内)

平成25年度
保育所・認定こども園入園説明会

平成25年度の保育所・認定こども園の入園説明会を以下のとおり開催します。入園の手続きや保育料、保育内容等の説明と入園申込に必要な書類をお配りします。

入園対象児童

- ・保育所および認定こども園の長時間部は、入園月の初日に満10カ月に達している児童から小学校就学前の児童となります。
*「保育に欠けること」が入園の要件となります。
- ・認定こども園の短時間部は、平成25年4月1日時点で満3歳に達している児童から小学校就学前の児童となります。

日時 10月22日(月) 13:30~15:00
場所 役場 湯けむりホール

対象

- ・平成25年4月から入園対象児童の入園を希望する方
 - ・育休復帰等のため年度途中に入園対象児童の入園を希望する方
- *南崎保育所では、「保育に欠けない3歳児以上の児童」(私的契約児)の受入れを行っています。私的契約児として入園を希望される方についても、ご参加ください。

問合せ 教育委員会事務局 学校教育係 ☎62-0604



トリム健康教室
参加者募集(追加募集)

トリムとは、バランスを保つという意味があり、トリム体操は、楽しく無理なくできる有酸素運動です。生活習慣病予防のために、トリム体操を始めてみませんか。

対象 70歳以下で、メタボリックシンドロームの改善や、トリム体操に関心のある方

日程 10月9日、16日、23日、30日、11月6日、13日、20日、27日、12月4日、11日 全10回、いずれも火曜日(途中参加も可)

時間 19:00~20:30

会場 南伊豆東小学校 体育館

参加費 1,500円

申込み・問合せ 随時募集
健康福祉課 ☎62-6233

10/11日(木)~20(土)
全国地域安全運動実施中

- ・家の窓には補助錠を付け、オートバイや自転車にはワイヤーロックを使うなど、ツーロックを心がけてください。
- ・振り込め詐欺、息子をかたり「携帯番号が変わった」などという電話はオレオレ詐欺を疑い、すぐに警察に通報してください。
- ・子どもの携帯電話には、フィルタリング(有害サイトへの接続を制限する機能)の設定をしましょう。犯罪防止には保護者の皆さまの力が必要です。また、未成年者の飲酒・喫煙は絶対にさせないように注意してください。

問合せ 下田警察署管内防犯協会 ☎27-2766

第21回元気な百姓まつり

10月10日(水) 8:45~

日野橋左岸広場 *雨天順延

問 産業観光課 ☎62-6300

戸籍の窓

赤ちゃん誕生おめでとう

地区	赤ちゃんの名前	誕生日	父・母
加納	山田 大海	8.14	一博・恵美子
下賀茂	齋藤 陽仁	8.17	剛史・英子

結婚お幸せに

地区	お名前(旧姓)	婚姻日
石廊崎	稲葉英和・順子(金森)	8.1
湊	山田茂人・奈緒子(鈴木)	8.8
湊	井上晃一・里佳(菊池)	8.30

お悔やみ申し上げます

地区	氏名	年齢	月日
下小野	渡邊 季一	92	8.4
平戸	白井 肇	78	8.6
一條	高橋 邦一	95	8.16
入間	山口 源二	88	8.21
青市	土屋 一秋	80	8.23
加納	高橋 末の	96	8.25
伊浜	齋藤 ちよう	101	8.26
下流	平山津田江	82	8.28

平成24年8月1日から8月31日までに届出のあったもの(敬称略)
※このコーナーに掲載を望まない方は、戸籍届出の時に申し出ください。

人の動き

(9月1日現在)

世帯数 3,996世帯
人口 9,281人(一9)
男 4,428人 女 4,853人

----- (8月中) -----

転入 18 転出 19
出生 2 死亡 10

※住民基本台帳法の改正(平成24年7月9日)により、外国人も含んでいます。

26年1月から記帳・帳簿の
保存制度の対象者が拡大

平成26年1月から、事業所得、不動産所得または山林所得を生ずべき業務を行う全ての方について、記帳と帳簿書類の保存が必要となります。

なお、この記帳と帳簿書類の保存制度につきましては、所得税の申告が必要ない方も対象となります。

詳細は、国税庁ホームページ(<http://www.nta.go.jp>)をご覧ください。

問合せ 下田税務署 ☎22-0185

平成24年分の確定申告会場は「下田市民スポーツセンター サンワーク下田 会議室」(下田市敷根761)です。

10月1日からみなと湯の営業時間が変わります

- ・通常/14:00~20:00
 - ・年末年始・ゴールデンウィーク/12:00~20:00
 - ・7月、8月/14:00~21:00
 - ・8月第1土曜日~第3日曜日/12:00~21:00
- 問合せ 産業観光課 ☎62-6300



姉妹都市だより 長野県塩尻市

甘い香りに包まれる
フルーツランド



南伊豆町の皆さん、こんにちは。塩尻桔梗ヶ原で、最初にブドウが植えられたのは明治23年。100年以上にわたり、特産品として愛されてきました。降水量が少なく、寒暖の差が大きい本市の気候はブドウ栽培に最適で、この時期、桔梗ヶ原一帯はブドウの甘い香りに包まれます。“緑の宝石”とも呼ばれる特産品の「ナイヤガラ」は糖度が高く、甘さの中にも酸味があり、その濃厚な味がとてもおいしいブドウです。

また、さまざまな種類のリングも楽しめ、ジュシーでさわやかな甘さが大変好評です。ぜひ一度、塩尻のおいしいブドウやリングをご賞味ください。

問合せ 塩尻市観光課 ☎0263(52)0280





天神原さくら会を支え、運営するメンバー

町の介護予防ボランティア講習会に参加した3人が、天神原には高齢者が集まる場がないので、地域で何かできないかと話し、周りに声をかけると、やはり同じ思いを持っていた人たちが集まりました。

「家で一人であるよりは、みんなで集まって、お茶でも飲みながらおしゃべりしましょう」と、今年4月から会がスタートしました。

運営するメンバーは、看板を作ってくれた人、保健師として参加者の血圧を測ってくれる人など、仕

まちの人

お茶を飲みながらおしゃべりしましょう

天神原さくら会 さん (天神原)

地域のお年寄りが集う会として、今年4月スタート。毎月第3日曜日の午後、天神原集会場で開催。

事の合間を縫って参加してくれています。

また、案内文や実施報告などのお便りも、すべて手作りで発行しています。参加者に、どんなことをやりたいかアンケートを実施したところ、第1位は「おしゃべりをしたい」でした。今後も、参加者が楽しめる会を目指していきます。

参加者は現在20人ほど。はじめは声をかけても参加しなかった人が参加してくれると、とても嬉しいです。ぜひ、男性の参加もお待ちしています。

健康一口メモ

一歩外に出て元気に過ごしましょう！

風が涼しく過ごしやすい季節になりました。楽しみな外出の予定はありますか？

家から一歩外へ出て、人や地域との関わりを増やすことで笑顔が生まれ、毎日の生活が豊かなものになります。

逆に「一週間外出していない」状態は閉じこもりの危険信号です。

外出を控えると、足の力が弱くなり刺激不足から、もの忘れを引き起こす心配などがあります。

町では65歳以上の方を対象に、いつまでもお元気でいるために、いろいろな介護予防教室を行っています。楽しみな外出になるとと思いますので、ぜひ参加してみませんか？

問合せ 地域包括支援センター ☎62-6233

スマイルキッズ



石井 木下^{れあ}恋杏ちゃん (1歳6か月)

「来年の夏は海でもぐるぜえ〜。ワイルドだろ〜」

広報みなみいず 10月号

発行日／平成24年10月1日
発行／南伊豆町 編集／企画調整課 印刷／(株)サン印刷
〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1
TEL 0558-62-6288 FAX 0558-62-1119
ホームページ
<http://www.town.minamizu.shizuoka.jp/>

編集後記

9月24日、伊豆半島ジオパークが日本ジオパークに認定されました。今後は、世界ジオパーク認定を目指して盛り上げていきましょう。㊦

広報みなみいずは、再生紙を利用しています。

平成 24 年南伊豆町議会 9 月定例会の開会にあたり、次の 7 項目について行政報告を申し上げます。

1 防災対策について

(1) 南海トラフ巨大地震モデル

8 月 29 日、内閣府から「南海トラフの巨大地震による津波高・浸水域等及び被害想定」が発表されました。

この発表での地震、津波の性格は、先の東日本大震災で得られたデータを含め、現時点の最新の科学的知見に基づき、発生しうる最大クラスの地震・津波を推計したもので、「現在のデータ集積状況と研究レベルでは、その発生時期の予測はできないが、発生頻度は極めて低いものである」とされております。

また、この予測数値に基づく被害想定を参考として、広域的な防災対策の立案、応援規模の想定に活用するほか、防災対策を講ずることによる具体的な被害軽減効果を示すことで、防災対策推進についての国民の理解を深めることが目的であるとされております。

本町における津波高では、想定される最大値が入間富戸ノ浜で 26m、平均値が 15m というものでありましたが、今後発表される静岡県第 4 次地震被害想定との整合性を図りながら、地域防災計画を見直しするとともに早期に着手が可能な防災・減災事業の

推進に努めてまいります。

また、本年度当初予算に計上いたしました津波避難タワー設計業務委託事業につきましては、弓ヶ浜付近での想定津波高が、12mから13mとされましたので、安全で安心な施設整備に向けて避難タワーの規模などについて、地元湊地区と早急に協議し、事業に着手してまいります。

(2) 海拔表示ステッカーの配布及び電柱への海拔表示板の設置

津波対策の一環として、海拔表示図の全戸配布に続き、海岸地区及び概ね海拔30m以下の地域を対象として、3,115枚の海拔表示ステッカーを6月までに配布し、各世帯に海拔表示看板の役割を担っていただいております。

加えて、宿泊施設等を含む事業所用のA4版の海拔表示ステッカーにつきましても、200枚余の配布を6月までに完了するとともに、若手職員による奉仕活動により、各地区の災害拠点でもある公民館等へのステッカー表示も行いました。

また、海岸地区をはじめ、多くの方々から要望のありました電柱への海拔表示板の設置につきましても、夏の観光シーズンに遅れることなく、7月中旬までに町内445か所への設置を完了いたしました。

これらの事業により、観光客等への避難誘導対策はもとより

津波避難体制の確立及び減災意識の高揚を図るとした所定の目的を達成することができました。

今後とも、創意工夫を旨として、更なる津波避難啓発事業の推進に努めてまいります。

(3) メール配信システムの運用及びエリアメールの充実

8月7日から防災をはじめ必要な情報を、住民、学校関係者、職員の3グループに分けて配信できる町独自のメール配信システムの運用を開始いたしました。

このシステムは、平成23年度に構築したもので、住民用メール配信では、町内外を問わず、希望される方の登録が可能で、防災・生活・観光情報などのほか、同報無線が屋内で聴き取りにくい場合などにも、メールにより広報内容を正確に把握することができます。

また、職員には、緊急時におけるメール配信により、迅速かつ的確な情報伝達が可能となり、防災対策上不可欠なアイテムとしてその幅広い活用が期待されるものであります。

このほか、エリアメールの配信では、NTTドコモに加えて、本年9月中には、KDDI、ソフトバンクでも配信可能となるため、災害時における情報伝達網の拡大強化が図られることとなります。

今後とも、町広報誌やホームページなどを活用し、メール配信

サービスの利用者登録を積極的に呼びかけ、より多くの町民の皆様にご利用いただくよう努めてまいります。

(4) 小学生の防災キャンプ(宿泊訓練：南中小、三浜小)

7月24日に南中小学校において6年生29人が、また、7月30日には三浜小学校において4年生から6年生まで16人が参加した防災キャンプ(宿泊訓練)を実施いたしました。

参加した児童たちは、飯ごうを使用した炊出し訓練、防災講座として東日本大震災のDVDの視聴や暗闇の中での歩行訓練、避難所用の段ボール間仕切りセットの組立訓練のほか、毛布と竹の棒で担架を作る応急訓練など、集団での貴重な体験学習が実践されました。

(5) 杉並区との災害時相互援助に関する協定

昨年3月に発生した東日本大震災では、大規模災害時における自治体間の水平的支援の輪が、被災地支援に大きな力となることが再認識されました。

このような中、9月14日に本庁舎湯けむりホールにおいて、長年交流のある杉並区との間で、減災に向けた自治体間の連携強化を基軸とする相互援助協定締結式を挙げる運びとなりました。

本式典には、杉並区長をはじめ、杉並区議会議長も出席の予定でありますが、今後とも、杉並区との間で、防災面だけでなく観光面なども視野に入れた多面的な交流を推進してまいりたいと考えております。

(6) その他

下田土木事務所では、緊急時における避難対策の一環として、所管する青野川河川堤防をはじめ、五十鈴川水門など町内8か所に海拔表示看板を設置したほか、年度内には、中木、手石地内の急傾斜地崩壊対策事業による3か所の擁壁施設へ避難階段を設置する予定であります。

また、土木総合情報システムによる河川情報をリアルタイムで公開するため、前原橋にはWEBカメラ装置が設置される予定であります。

今後とも、津波対策、大雨・洪水対策などの更なる充実整備に向けて、静岡県との連携強化に努めてまいります。

2 観光・産業振興等について

(1) 観光・産業振興

昨年3月11日に発生いたしました東日本大震災の影響から、やっと立ち直りが見えてきたところに、本年3月末に内閣府から

発表された南海トラフ巨大地震による津波高 25.3m の風評被害が、観光立町を提唱する当町の経済に対して、少なからずとも影響をもたらすこととなりました。

このような状況に対応するため、観光面につきましては、海、山、自然を活用しての通年型のイベント、トップセールスをはじめとする誘客キャンペーンを実施するとともに、外国人誘客のためのインバウンド事業などを展開してまいります。

また、6月定例会南伊豆町一般会計補正予算第2号に計上し、ご審議をいただきました観光協会が行う京浜方面からの誘客事業『伊勢海老号』の運行支援や、9月定例会南伊豆町一般会計補正予算第3号に計上いたしました商工会が行う『南伊豆プレミアム商品券』の発券支援など、関係団体と連携しながら各施策等を積極的に展開し、産業の活性化を図ってまいりますので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

(2) オープンウォータースイムレース等の実施状況

6月24日、第3回南伊豆弓ヶ浜オープンウォータースイムレースが開催され、各地から132人の参加があり、内58人の方々に町内へ宿泊していただきました。

また、当日は、初の試みとしてブラジル・カーニバルを招聘し、

会場周辺を盛り上げるイベントを開催いたしました。

さらに、7月29日には、弓ヶ浜においてフラダンスとハワイアン音楽を中心としたイベントを開催し、県内外の2チームによるフラダンスとプロの音楽家によるハワイアン音楽とのコラボレーションで大いに海辺を元気にすることができました。

加えて、9月9日開催の第2回国際マスターズオープンウォータースイムレースには、8月31日現在、各地から183人の参加申込みがあり、この183人の中には、招待選手である台湾、中国、オーストラリア、アメリカといった、海外からの参加選手も含まれております。

また、8月25日、26日の両日は、第14回弓ヶ浜ビーチバレーボール大会が開催され、各地から512人の参加があり、参加者全員に町内へ宿泊していただきました。

このような行事へのサポート体制であります。8月のビーチバレーボールの際には、地域宿泊施設関係者及びNPO団体等の手によりバーベキューのおもてなしが実施されました。

また、今月の国際マスターズの際には、観光協会を事務局とする地域実行委員会が前夜祭「黒潮ウェルカムファンクション」を開催し、参加者の歓迎にあたる予定であります。

さらに、10月7日に第3回南伊豆・弓ヶ浜アクアスロン大会が

開催される予定ですが、既に各地から 140 人以上の参加申込みを
いただいております、当日の大会運営には、地域宿泊施設関係者が
ボランティアとして参画することになっております。

(3) ジオパークビジターセンターの開設

伊豆半島ジオパーク構想につきましては、当町も含めた 7 市
6 町で構成する伊豆半島ジオパーク推進協議会が、本年 4 月 24 日に、
日本ジオパーク認定に向けた申請書を日本ジオパーク委員会へ
提出し、今月中には認定されるものと期待しているところで
あります。

このような中、当町では、ジオパーク構想の一層の推進を図る
ため、閉鎖されていた「あいあい岬」売店施設を活用し、7 月
14 日に伊豆半島で初めてとなる南伊豆町ジオパークビジター
センターを開設いたしました。

同施設は、観光協会が運営する売店も併設されており、開設
以来多くの来場者があり、奥石廊崎の新たな観光スポットとして
定着しつつあります。

今後は、同センターを軸とし、陸、海、両サイドからのジオ
サイトツアーの随時開催や、地場製品の販売も含め情報発信の
場として大いに期待しているところであります。

(4) 観光客等入込み状況

4月から7月における観光客の入込み状況がまとまりましたので、報告いたします。

全体では145,981人で、対前年同期比120.40%と前年度を上回る入込みとなりました。

分野別に見てみますと、弓ヶ浜海水浴場は3,835人で、対前年同期比60.97%、子浦海水浴場は670人で、対前年同期比63.21%、中木海岸は8,301人で、対前年同期比164.70%でした。

なお、昨年に引き続き、弓ヶ浜と子浦の両海水浴場では、海水浴客の安全安心を確保するため、放射性物質検査を6月、7月及び8月に実施しましたが、両海水浴場とも放射性ヨウ素、放射性セシウムは検出されませんでした。

民宿旅館等の宿泊客数は、民宿が11,209人で、対前年同期比84.41%、旅館等が49,997人で、対前年同期比134.48%、全体では対前年同期比121.30%となりました。

また、観光施設につきましては、39,600人で、対前年同期比127.02%となっております。

各地域で実施した海中散歩をはじめとする各種イベントなどは、石廊崎灯台の二日間における一般開放などによる増加が起因し、1,462人で、対前年同期比271.24%となりました。

町営温泉の利用状況は、銀の湯会館が 21,037 人で、対前年同期比 119.84%、みなと湯が 8,256 人で、対前年同期比 104.14%、合計では対前年同期比 114.96%となりました。

観光施設等の入込状況

(単位:人)

区 分		平成24年度		前年比(%)
		平成24年4月～7月	平成23年4月～7月	
海水浴場	弓ヶ浜海水浴場	3,835	6,290	60.97
	子浦海水浴場	670	1,060	63.21
	中木海岸	8,301	5,040	164.70
	妻良海上アスレチック	1,614	1,200	134.50
	小 計	14,420	13,590	106.11
宿泊施設	民宿	11,209	13,279	84.41
	旅館	49,997	37,178	134.48
	小 計	61,206	50,457	121.30
観光施設	下賀茂熱帯植物園	8,427	5,262	160.15
	波勝崎苑	8,894	8,421	105.62
	石廊崎遊覧船	9,276	6,580	140.97
	アロエセンター	480	600	80.00
	天神原植物園	1,998	2,565	77.89
	伊豆下田CC	7,859	7,749	101.42
	ジオパークビジターセンター	2,666	-	-
	小 計	39,600	31,177	127.02
各種イベント	海中散歩	80	25	320.00
	南伊豆・弓ヶ浜オープンウォータースイムレース	132	158	83.54
	石廊崎灯台一般開放	1,050	356	294.94
	Hula Hula Fan Fan	200	-	-
	小 計	1,462	539	271.24
温泉施設	銀の湯会館	21,037	17,554	119.84
	みなと湯	8,256	7,928	104.14
	小 計	29,293	25,482	114.96
合 計		145,981	121,245	120.40

(資料:観光交流客数調査)

3 水道料金の改定について

水道事業会計の経営健全化及び水の安定供給を図るため、平成 24 年 2 月 29 日に南伊豆町水道料金等審議会長から水道料金改定等について答申がありました。

答申内容につきましては、前回の料金改定が行われた平成 4 年から 20 年経過しており、基本料金を 55% 引き上げるなど、料金を大幅に改定する内容となっております。

答申を受けて、その内容に沿った料金改定を検討いたしましたが、現在の地域経済状況や電気料金等の値上げなど、水道利用者の負担増加を考慮し、平成 25 年から 3 年間かけて料金を段階的に改定することとし、給水条例の一部改正を 9 月定例会に上程いたしました。

段階的な料金改定による給水収益の不足分につきましては、一般会計からの繰入金を増額して対応することとしておりますが、今後とも引き続き、水道事業経営の健全化と水の安定供給に努めてまいります。

4 自然エネルギーについて

6 月上旬に、静岡県から各市町を対象とした民間企業によるメガソーラー建設促進のための適地情報収集についての調査依頼がありました。

これを受けて、町といたしましても、吉祥町有地について、その

利活用の可能性を広げる一つの手法として、この調査に対する回答を行ったところであります。

現在、静岡県では、各市町の回答を受けて、当町の吉祥町有地も含め「ふじのくにメガソーラー情報バンク」として、ホームページを通じて情報発信しておりますが、町に対して数社から照会があり、また現地調査に訪れた企業もあります。

吉祥町有地でのメガソーラー建設の可能性は未知数ではありますが、企業の動向を注視するとともに、先進地の調査なども含め、研究してまいりたいと考えております。

また、環境省では、平成 23 年度から独立行政法人産業技術総合研究所に委託し、下賀茂温泉における地下の地質分布や温度分布等を調査し、温泉湧出メカニズムや地熱資源の広がり等を解明することを目的として「温泉共生型地熱貯留層管理システム実証研究」を進めております。

現在、加納地区において、695.7mの地下深部からの熱水噴出試験に向けての準備が進められているところです。

調査結果につきましては、本年度末に報告書として取りまとめられることとなっており、この結果が将来にわたっての温泉の利活用において、貴重な資料になるものと期待しております。

5 滞納処分強化対策について

静岡県と 35 市町で構成する県個人住民税徴収対策本部会議は、平成 22 年度から 2 年連続して全国最下位となっている個人住民税の収入率向上のため、本年度から 3 か年を集中計画期間とし、収入率 91.5%を目標とした徴収対策強化に取り組むことを決定いたしました。

本県における平成 22 年度の個人住民税の滞納額は、個人県民税及び個人市町村民税合わせて約 388 億円となっており、この対策は大きな課題となっております。

当町でも、平成 23 年度決算において、個人住民税の収入率は 89.76%で、2,240 万 9,000 円が滞納となっておりますが、これまで静岡県滞納整理機構による徴収や、個人住民税を給与から天引きする特別徴収を、県内では賀茂郡市町が先がけて実施するなど、その対策に努めているところです。

さらに、9月5日から11月末までは、静岡県から派遣される2名の税務職員による財産調査や差押えなどの指導等を受けることとなっており、町税の収入率向上を図るための徴収対策強化に取り組んでまいります。

6 電子入札について

当町におきましては、本年4月、入札方法を電子化するために、賀茂郡下では初めてとなる静岡県共同電子入札システムを導入いた

しました。

町内の建設関連業者には、2度におたる説明会を開催し、電子入札に対応できるための環境整備及び操作方法の説明を行うなど、実施への準備を進め、7月の入札から、電子入札をスタートさせました。

電子入札につきましては、事務処理の面では、効率化及び迅速化が図られるとともに、透明性の確保や入札参加者の費用等の軽減、さらに、入札参加機会の拡大など、いろいろな面でメリットがあります。

現在は、建設関連工事のみで実施しておりますが、今後は、建設関連設計委託や物品購入などの入札も電子化を目指し、より一層、事務の簡素化や透明性の確保等に向けた取組を推進してまいりたいと考えております。

7 主要建設事業等の発注状況について

平成 24 年度第 2 四半期における主要建設事業等の発注状況は、次のとおりであります。

平成 24 年度大規模地震対策事業備蓄用食料品購入

2,110,500円 旭産業株式会社沼津営業所

平成 24 年度橋梁長寿命化修繕計画業務委託

19,425,000円 株式会社ウエマツコンサルティング

平成 24 年度町道東風山戸 A 線道路舗装改良工事

4,693,500円 丸三工業株式会社

平成 24 年度弥宜田橋橋梁架替工事

2,126,250円 有限会社山崎建設

平成 24 年度志戸橋橋梁架替工事

2,184,000円 有限会社山崎建設

平成 24 年度 24 年災 3 号町道段山線道路災害復旧工事

2,102,100円 恵比寿建設株式会社

平成 24 年度石井浄水場 1 号送水ポンプ電動弁取替工事

2,604,000円 株式会社二和工業商会

平成 24 年度簡易水道等施設整備事業蛇石地区配水管布設替工事
(第 1 工区)

19,026,000円 株式会社塩崎工業

平成 24 年度簡易水道等施設整備事業蛇石地区配水管布設替工事
(第 2 工区)

18,858,000 円 株式会社塩崎工業

平成 24 年度簡易水道等施設整備事業青野地区送配水管布設替工事

7,770,000 円 飯泉設備工業

平成 24 年度小沢川河川改修工事に伴う青市地区配水管布設替工事

2,016,000 円 有限会社藤原設備

平成 24 年度南伊豆町公共下水道事業下賀茂処理分区管渠築造工事
(第 2 工区)

14,660,100 円 株式会社南伊豆造園土木

平成 24 年度南伊豆町公共下水道事業下賀茂処理分区管渠築造工事
(第 3 工区)

14,490,000 円 五味建設株式会社

平成 24 年度南伊豆町公共下水道南伊豆クリーンセンターの実施
設計の作成委託に関する協定

25,000,000 円 日本下水道事業団

平成 24 年度南伊豆町公共下水道南伊豆クリーンセンター再構築
基本設計（長寿命化計画）に係る技術的援助に関する協定

4,000,000円 日本下水道事業団

以上で、平成 24 年 9 月定例会の行政報告を終わります。